

第 2 章

「児童・生徒の学力向上を図るための調査」
(中学校)

I 「児童・生徒の学力向上を図るための調査」(中学校)の概要

1 調査の目的

東京都教育委員会では、平成15年度から、国語、社会、数学、理科、外国語(英語)の教科の目標や内容の実現状況を把握し、それを指導方法の充実・改善に結び付けることを目的に、教科別・観点別の学力定着状況調査を4年間実施した。平成18年度から平成20年度にかけては、各教科等で身に付けた知識や技能、思考力や判断力等を相互に関連付け、日常生活や学校生活などの問題場面において活用できるか、その実現状況をみるため、「問題解決能力等」の調査を実施した。平成19年度から平成22年度にかけては、国語及び数学の学習指導要領に示されている内容に基づいた「基礎的・基本的な事項に関する調査」を実施した。

調査の結果から、東京都における生徒の学力の定着状況については概ね良好であるが、「長い文章を読んで内容を把握することや情報を整理して判断すること」について課題があることが明らかになった。この課題を踏まえ、平成22年度には、「文章や図表、グラフなどから必要な情報を正確に読み取り、解釈しながら問題を解決する」過程において、生徒がどの段階でどのような学習のつまずきがあるのかを明らかにするために、*「読み解く力に関する調査」を実施した。平成23年度からは、中学校学習指導要領が先行実施されたことを踏まえ、学習指導要領に示された目標や内容の実現状況と「読み解く力」の定着状況を把握するために、国語、社会、数学、理科、外国語(英語)の各教科について調査を実施している。

*「読み解く力」については、「文章や図表等から必要な情報を正確に取り出し、比較・関連付けて読み取り、理由を理解・解釈推論して解決する力」とした。

2 調査問題作成の基本方針

- (1) 調査問題を、年度ごとに比較する「経年比較型」、生徒のつまずきが、どこでどのように見られたのか分析できる「課題分析型」、よりよい授業展開の在り方を提案する「授業提案型」の3種類とする。
- (2) 学習指導要領に示された目標や内容の実現状況を、「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「技能」「知識・理解」の4つの評価の観点(国語は5観点)から調査する。
- (3) 「読み解く力」の定着状況を、「必要な情報を正確に取り出す力」、「比較・関連付けて読み取る力」、「意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力」の3つの観点から調査する。

3 調査項目

教科	調 査 項 目
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・話すこと・聞くこと(音声を聞いて答える問題) ・漢字の読み(小学校「学年別漢字配当表」) ・漢字の書き(小学校「学年別漢字配当表」) ・言語に関する知識 ・文学的な文章の読み ・ 説明的な文章の読み ・ 書くこと 【読み解く力】 (1) 取り出す力 (2) 読み取る力 (3) 解決する力
社会	[地理的分野]・世界の地域構成 ・世界各地の人々の生活と環境 ・世界の諸地域 ・世界の様々な地域の調査 ・日本の地域構成 [歴史的分野]・歴史のとらえ方 ・古代までの日本 ・中世の日本 【読み解く力】 (1) 取り出す力 (2) 読み取る力 (3) 解決する力
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・正負の数 ・文字と式 ・一次方程式 ・比例と反比例 ・平面図形 ・空間図形 ・資料の活用 ・式の計算(第2学年) 【読み解く力】 (1) 取り出す力 (2) 読み取る力 (3) 解決する力
理科	[第1分野]・光と音の性質 ・力と圧力 ・気体の発生と性質 ・水溶液 [第2分野]・生物の観察 ・植物の体のつくりと働き ・大地の成り立ちと変化 【読み解く力】 (1) 取り出す力 (2) 読み取る力 (3) 解決する力
外国語 (英語)	<ul style="list-style-type: none"> ・聞くこと(音声を聞いて答える問題) ・読むこと ・書くこと 【読み解く力】 (1) 取り出す力 (2) 読み取る力 (3) 解決する力 ※時制は現在形・進行形・過去形(be動詞含む)まで

※持ち物として、定規及びコンパスを用意する。

※各教科とも小学校及び中学校第1学年に学習した内容を含む。

Ⅱ 「児童・生徒の学力向上を図るための調査」(中学校)の結果について

1 調査結果の概要

教科	《教科の観点ごとの正答率》			《教科の読み解く力ごとの正答率》		
	評価の観点	全都平均正答率	全都平均正答率グラフ (%) 0 50 100	読み解く力の観点	全都平均正答率	全都平均正答率グラフ (%) 0 50 100
国語(第二学年)	国語への関心・意欲・態度	95.9%		必要な情報を正確に取り出す力	69.8%	
	話す・聞く能力	70.4%		比較・関連付けて読み取る力	71.6%	
	書く能力	70.1%		意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力	77.8%	
	言語についての知識・理解・技能	76.2%		B 読み解く力に関する内容	72.3%	
	読む能力	57.1%				
A 教科の内容	72.7%		教科の合計(A+B)	72.7%		
社会(第二学年)	社会的事象への関心・意欲・態度	92.6%		必要な情報を正確に取り出す力	64.3%	
	社会的な思考・判断・表現	46.6%		比較・関連付けて読み取る力	56.1%	
	資料活用の技能	55.1%		意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力	43.6%	
	社会的事象についての知識・理解	58.0%		B 読み解く力に関する内容	54.6%	
	A 教科の内容	57.0%		教科の合計(A+B)	56.5%	
数学(第二学年)	数学への関心・意欲・態度	83.3%		必要な情報を正確に取り出す力	43.2%	
	数学的な見方や考え方	48.1%		比較・関連付けて読み取る力	28.9%	
	数学的な技能	59.6%		意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力	33.6%	
	数量や図形などについての知識・理解	62.3%		B 読み解く力に関する内容	35.4%	
	A 教科の内容	60.1%		教科の合計(A+B)	53.3%	
理科(第二学年)	自然事象への関心・意欲・態度	88.0%		必要な情報を正確に取り出す力	77.5%	
	科学的な思考・表現	49.0%		比較・関連付けて読み取る力	31.8%	
	観察・実験の技能	75.4%		意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力	53.6%	
	自然事象についての知識・理解	53.5%		B 読み解く力に関する内容	54.3%	
	A 教科の内容	57.2%		教科の合計(A+B)	56.5%	
英語(第二学年)	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	79.7%		必要な情報を正確に取り出す力	62.9%	
	外国語表現の能力	47.6%		比較・関連付けて読み取る力	76.9%	
	外国語理解の能力	65.1%		意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力	49.9%	
	言語や文化についての知識・理解	64.5%		B 読み解く力に関する内容	63.3%	
	A 教科の内容	62.9%		教科の合計(A+B)	62.9%	

※教科の合計(A+B)は、全体から算出した正答率であり、表中のAとBの単純平均とはなっていない

2 各教科の問題ごとの正答率一覧と間違えてしまったときの復習のポイント

(1) 国語（中学校第2学年対象）

問題番号	通し番号	学習指導要領の内容	出題のねらい	評価の観点	正答率	分類
1(1)	1	1年A話・聞エ	話の内容を正確に捉えることができる。	②	81.4%	●
1(2)	2	1年A話・聞エ	話を聞き必要に応じて適切な質問をすることができる。	②	45.5%	
1(3)	3	1年A話・聞オ	二つの意見を聞いて内容を理解するとともに、観点を明確にして比較することができる。	②	84.3%	
1(4)	4	1年A話・聞	適切な関心・意欲・態度をもって、話すこと、聞くことについての学習に取り組もうとしている。	①	96.4%	●
2(1)	5	1年伝統(1)ウ	小学6年生までの学習漢字について、正しく読むことができる。	⑤	92.2%	○
2(2)	6	1年伝統(1)ウ		⑤	89.5%	○
2(3)	7	1年伝統(1)ウ		⑤	76.9%	○
3(1)	8	1年伝統(1)ウ	小学6年生までの学習漢字について、正しく書くことができる。	⑤	58.6%	○
3(2)	9	1年伝統(1)ウ		⑤	61.5%	○
3(3)	10	1年伝統(1)ウ		⑤	74.0%	○
4(1)	11	1年伝統(1)イ	語句の係り受けについて理解し、適切に文を書くことができる。	⑤	83.6%	○
4(2)	12	1年伝統(1)イ	熟語の意味や組み立てを理解し、文の中で正しく使うことができる。	⑤	81.1%	○
4(3)	13	1年伝統(1)イ		⑤	89.9%	○
4(4)	14	1年伝統(1)イ	語句の係り受けについて理解し、適切に文を書くことができる。	⑤	54.2%	○
5(1)	15	1年C読エ	表現のねらいや工夫を、場面と結び付けて読み取ることができる。	④	52.4%	
5(2)	16	1年C読ウ	ある場面での登場人物の行動の理由を読み取ることができる。	④	91.8%	●
5(3)	17	1年C読ウ	ある場面での登場人物の気持ちを読み取ることができる。	④	50.0%	
5(4)	18	1年C読ウ	ある場面での登場人物の様子を読み取ることができる。	④	34.0%	
6(1)	19	1年C読イ	課題に即して文章を読み、課題解決のために必要な情報を正確に取り出すことができる。	⑥	63.3%	●
6(2)	20	1年C読イ	課題に即して文章を読み、課題解決のために必要な情報を正確に取り出すことができる。	⑥	76.3%	●
6(3)	21	1年C読イ	課題を解決するために、文章やグラフから取り出した情報を比較・関連付けて読み取ることができる。	⑦	71.6%	●
6(4)	22	1年C読オ	読み取った情報を基に、理解・解釈・推論し、課題を解決することができる。	⑧	77.8%	
7(1)	23	1年B書イ	集めた材料を基に自分の考えをまとめ、材料を分類するなどして整理して書くことができる。	③	41.3%	
7(2)①	24	1年B書ウ	伝えたい事実や事柄について、自分の考えを根拠を明確にして書くことができる。	③	74.1%	●
7(2)②	25	1年B書ウ	伝えたい事実や事柄について、自分の考えを根拠を明確にして書くことができる。	③	81.0%	●
7(3)	26	1年B書ウ	伝えたい事実や事柄について、自分の考えを根拠を明確にして書くことができる。	③	84.0%	
7(4)	27	1年B書	適切な関心・意欲・態度をもって、書くことについての学習に取り組もうとしている。	①	95.3%	●

(評価の観点) ①国語への関心・意欲・態度 ②話す・聞く能力 ③書く能力 ④読む能力

⑤言語についての知識・理解・技能 ⑥必要な情報を正確に取り出す力

⑦比較・関連付けて読み取る力 ⑧意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力

(分類) ○教科書例題レベルの問題 ●教科書練習問題レベルの問題 到達目標値は○と●の合計数である。

○ 間違えてしまったときの復習のポイント

問題番号	通し 番号	復習のポイント
1	(1)	1 話を聞くときに、キーワードを箇条書きでメモしながら聞くこと。
1	(2)	2 話を聞きながら自分の考えをまとめたり、分からない点を確認したりすること。
1	(3)	3 観点を明確にして話を聞いたり、異なる話を比較して聞いたりすること。
1	(4)	4 これまでに学習した内容を別の場面で生かしたり、どのような場面で活用できるか考えたりすること。
2	(1)	5 小学校6年生までに学習した漢字を、音読みや訓読みに注意して正しく読めるようにすること。
2	(2)	
2	(3)	
3	(1)	8 小学校6年生までに学習した漢字を、部首や意味の違いに注意して正しく書けるようにすること。
3	(2)	
3	(3)	
4	(1)	11 主語と述語、修飾語と被修飾語など、語句同士のつながりを確かめながら文章を読んだり書いたりすること。
4	(2)	12 漢字の意味を確かめながら熟語を読んだり書いたりすること。
4	(3)	
4	(4)	14 主語と述語、修飾語と被修飾語など、語句同士のつながりを確かめながら文章を読んだり書いたりすること。
5	(1)	15 何をどのように表現しているのかを細かく捉えながら物語を読むこと。
5	(2)	16 場面ごとに、自分を登場人物に置きかえて、気持ちの変化や行動の理由を考えること。
5	(3)	17 場面ごとに、自分を登場人物に置きかえて、気持ちの変化や行動の理由を考えること。
5	(4)	18 登場人物がどのような表情やしぐさをしているかを想像しながら物語を読むこと。
6	(1) ①	19 「何を知るために」「何を読み取るために」という目的を明確にして文章を読んだり、図表を読み取ったりすること。
6	(1) ②	
6	(2)	21 文章や図表などから読み取ったことを整理して、内容をまとめること。
6	(3)	22 読み取ったことを基に、自分の考えをまとめ、分かりやすく伝えること。
7	(1)	23 書くために集めたメモなどの材料を、内容ごとにグループに分けて整理すること。
7	(2) ①	24 自分の意見や考えについて、そのように考えた理由を明確にして書くこと。
7	(2) ②	25 数値やデータを示すときの効果的な示し方を工夫すること。
7	(3)	26 自分の意見や考えについて、そのように考えた理由を明確にして書くこと。
7	(4)	27 これまでに学習した内容を別の場面で生かしたり、どのような場面で活用できるか考えたりすること。

(2) 社会（中学校第2学年対象）

問題番号	通し番号	学習指導要領の内容	出題のねらい	評価の観点	正答率	分類
1	(1)	1 地理(1)ア イ	世界地図を用いて、地球上の位置を捉えることができる。	③	61.0%	○
1	(2)	2 地理(1)ア イ	世界地図を用いて、地球上の位置を捉えることができる。	③	13.7%	●
1	(3)	3 地理(1)ア イ	人々の生活の様子を自然と関連付けて捉えることができる。	②	75.3%	●
1	(4)	4 地理(1)ア イ	世界各地の人々の生活について理解している。	④	83.5%	○
1	(5)	5 地理(1)ア イ	世界各地の時差を資料から捉え、まとめることができる。	②	52.0%	●
1	(6)	6 地理(1)ア イ	世界各地の人々の生活と環境を意欲的に探究しようとしている。	①	94.2%	●
2	(1)	7 地理(1)ウ	南アメリカ州の地域的特色を正しく理解している。	④	67.8%	●
2	(2)	8 地理(1)ウ	南アメリカ州の地域的特色の理由について、考察することができる。	②	18.8%	●
2	(3)	9 地理(1)ウ	南アメリカ州の地域的特色を資料から捉え、説明することができる。	③	35.9%	
3	(1)	10 地理(2)ア	日本の気候の特色を基に雨温図を正しく表している。	③	73.3%	○
3	(2)	11 地理(2)ア	日本の気候の特色の理由を正しく説明することができる。	②	53.8%	●
3	(3)	12 地理(2)ア	日本の都道府県名を正しく理解している。	④	51.0%	●
4	(1)	13 歴史(3)	中世の歴史の流れを正しく理解している。	④	48.7%	○
4	(2)	14 歴史(3)	鎌倉幕府の特色を正しく理解している。	③	64.7%	●
4	(3)	15 歴史(3)	資料を基に、鎌倉幕府の政治的特色を正しく捉えている。	②	34.4%	
4	(4)	16 歴史(3)	中世の歴史の学習を踏まえ、意欲的に探究しようとしている。	①	91.0%	●
5	(1)	17 歴史(2)(3)	古代の歴史的事象を正しく理解している。	④	38.9%	●
5	(2)	18 歴史(2)(3)	古代から中世における歴史的事象と外国との関わりについて、複数の資料を関連付け、捉えることができる。	③	76.8%	○
5	(3)	19 歴史(2)(3)	古代の歴史的事象について、資料を基に捉えることができる。	③	60.3%	
5	(4)	20 歴史(2)(3)	古代から中世の外交の特色をまとめることができる。	②	45.2%	●
6	(1)	21 地理(2)イ(エ)	1965年の日本の交通網の様子を正確に取り出すことができる。	⑤	73.3%	○
6	(2)	22 地理(2)イ(エ)	1965年と2010年の日本の交通網の変化をまとめることができる。	⑥	66.0%	●
6	(3)	23 地理(2)イ(エ)	日本の交通網の整備に伴う輸送機関別の利用状況を推論することができる。	⑦	42.7%	
7	(1)	24 歴史(4)	江戸時代における河川の状況を正確に取り出すことができる。	⑤	55.3%	○
7	(2)	25 歴史(4)	江戸時代における河川の変化をまとめることができる。	⑥	46.1%	●
7	(3)	26 歴史(4)	江戸時代における用水建設の理由を推論することができる。	⑦	44.4%	

(評価の観点) ①社会的事象への関心・意欲・態度 ②社会的な思考・判断・表現 ③資料活用の技能
 ④社会的事象についての知識・理解 ⑤必要な情報を正確に取り出す力
 ⑥比較・関連付けて読み取る力 ⑦意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力

(分類) ○教科書例題レベルの問題 ●教科書練習問題レベルの問題 到達目標値は○と●の合計数である。

○ 間違えてしまったときの復習のポイント

問題番号	通し 番号	復習のポイント
①(1)	1	世界地図を用いて、地球上の位置を捉えること。
①(2)	2	世界地図を用いて、地球上の位置を捉えること。
①(3)	3	人々の生活の様子を自然と関連付けて捉えること。
①(4)	4	世界各地の人々の生活について理解すること。
①(5)	5	世界各地の時差を資料から捉え、まとめること。
①(6)	6	世界各地の人々の生活と環境を意欲的に探究しようとする事。
②(1)	7	南アメリカ州の地域的特色を正しく理解すること。
②(2)	8	南アメリカ州の地域的特色の理由について、考察すること。
②(3)	9	世界の諸地域的特色を資料から捉え、説明すること。
③(1)	10	日本の気候的特色を基に雨温図を正しく表すこと。
③(2)	11	日本の気候的特色の理由を正しく説明すること。
③(3)	12	都道府県名と都道府県庁所在地名を正しく理解すること。
④(1)	13	中世の歴史の流れを正しく理解すること。
④(2)	14	鎌倉幕府的特色を正しく理解すること。
④(3)	15	資料を基に、中世の政治的特色を正しく捉えること。
④(4)	16	中世の歴史の学習を踏まえ、意欲的に探究すること。
⑤(1)	17	古代の歴史的事象を正しく理解すること。
⑤(2)	18	古代から中世における歴史的事象と外国との関わりについて捉えること。
⑤(3)	19	古代の歴史的事象について、資料から捉え、説明すること。
⑤(4)	20	古代から中世の外交的特色をまとめること。
⑥(1)	21	1965年の日本の交通網の様子を正確に取り出すこと。
⑥(2)	22	1965年と2010年の日本の交通網の変化をまとめること。
⑥(3)	23	日本の交通網の整備に伴う輸送機関別の利用状況を推論すること。
⑦(1)	24	江戸時代における河川の状況を正確に取り出すこと。
⑦(2)	25	江戸時代における河川の変化をまとめること。
⑦(3)	26	江戸時代における用水建設の理由を推論すること。

(3) 数学（中学校第2学年対象）

問題番号	通し番号	学習指導要領の内容	出題のねらい	評価の観点	正答率	分類
1	(1)	小5 B (4) ア	小数の乗法ができる。	③	64.4%	○
1	(2)	小5 B (4) ア	分数と小数の減法ができる。	③	58.4%	○
1	(3)	1年 A (1) ウ	正負の数の減法ができる。	③	96.4%	○
1	(4)	1年 A (1) ウ	正負の数の乗除ができる。	③	73.5%	○
2	(1)	1年 A (2) エ	文字を使った式で表すことができる。	④	50.7%	●
2	(2)	1年 A (2) ウ	文字式の計算ができる。	③	76.1%	○
2	(3)	1年 A (3) ウ	1次方程式を解くことができる。	③	64.4%	○
2	(4)	1年 A (3) ウ	比例式を解くことができる。	③	65.7%	●
3	(1)	1年 A (2) ウ	あけみさんの考えを表した式が分かる。	③	77.5%	●
3	(2)	1年 A (2) エ	式が表す考え方を表現することができる。	②	74.7%	
4	(1)	1年 A (3) ア	AプランとBプランの料金を求めることができる。	⑤	25.5%	○
4	(2)①	1年 A (3) ア	式が表す数量が分かる。	⑤	67.9%	●
4	(2)②	1年 A (3) ウ	方程式を立式することができる。	⑥	18.7%	●
4	(3)	1年 A (3) ウ	Aプランの方が安くなる枚数を求めることができる。	⑦	10.1%	
5	(1)	1年 C (1) イ	y が x に比例する事象を選ぶことができる。	④	80.8%	○
5	(2)	1年 C (1) エ	反比例のグラフから式を求めることができる。	③	42.2%	●
5	(3)	1年 C (1) オ	水を入れる量の割合をどのように変えればよいかを理解できる。	②	56.2%	
6	(1)	1年 B (1) ア	接線の作図をすることができる。	③	34.1%	●
6	(2)	1年 B (1) ア	作図をした図形のある部分の長さがわかる。	③	33.3%	●
6	(3)	1年 B (1) ア	作図の結果を見て、その過程について理解することができる。	②	32.8%	
6	(4)	1年 B (1) ア	図形の作図に意欲的に取り組もうとしている。	①	86.5%	●
7	(1)	1年 B (2) ア	ねじれの位置にある辺について理解している。	④	55.5%	○
7	(2)	1年 B (2) ウ	三角錐の体積を求めることができる。	③	29.5%	●
7	(3)	1年 B (2) ウ	底面積と体積について理解できている。	②	28.8%	
8	(1)	1年 D (1) ア	ヒストグラムから回数を読み取ることができる。	⑤	36.3%	○
8	(2)	1年 D (1) ア	度数分布表を完成させることができる。	⑥	49.3%	●
8	(3)	1年 D (1) ア	中央値を求めることができる。	⑥	18.6%	●
8	(4)	1年 D (1) イ	暑いと言える理由を説明することができる。	⑦	57.1%	
8	(5)	1年 D (1) ア	「資料の活用」に意欲的に取り組もうとしている。	①	80.1%	●

(評価の観点) ①数学への関心・意欲・態度 ②数学的な見方や考え方 ③数学的な技能

④数量や図形などについての知識・理解 ⑤必要な情報を正確に取り出す力

⑥比較・関連付けて読み取る力 ⑦意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力

(分類) ○教科書例題レベルの問題 ●教科書練習問題レベルの問題 到達目標値は○と●の合計数である。

○ 間違えてしまったときの復習のポイント

問題番号	通し番号	復習のポイント
①(1)	1	小数の乗法をすること。
①(2)	2	分数と小数の減法をすること。
①(3)	3	正負の数の減法をすること。
①(4)	4	正負の数の乗除をすること。
②(1)	5	文字を使った式で表すこと。
②(2)	6	文字式の計算をすること。
②(3)	7	1次方程式を解くこと。
②(4)	8	比例式を解くこと。
③(1)	9	式を読み取ること。
③(2)	10	式が表す考え方を表現すること。
④(1)	11	文章を読み取り、料金を求めること。
④(2)①	12	式が表す数量を理解すること。
④(2)②	13	文章から方程式を作ること。
④(3)	14	方程式を解いたあと、問題の意図に合った答えとなっているか確認すること。
⑤(1)	15	y が x に比例する事象を選ぶこと。
⑤(2)	16	反比例のグラフから式を求めること。
⑤(3)	17	水を入れる量の割合をどのように変えればよいか理解すること。
⑥(1)	18	接線の作図をすること。
⑥(2)	19	作図をした図形のある部分の長さが分かること。
⑥(3)	20	作図の結果を見て、その過程について理解すること。
⑥(4)	21	図形の作図に意欲的に取り組もうとしていること。
⑦(1)	22	ねじれの位置にある辺について理解していること。
⑦(2)	23	三角錐の体積を求めること。
⑦(3)	24	底面積と体積について理解すること。
⑧(1)	25	ヒストグラムから回数を読み取ること。
⑧(2)	26	度数分布表を完成させること。
⑧(3)	27	中央値を求めること。
⑧(4)	28	暑いと言える理由を、データを基に説明すること。
⑧(5)	29	資料の活用に意欲的に取り組もうとすること。

(4) 理科（中学校第2学年対象）

問題番号	通し番号	学習指導要領の内容	出題のねらい	評価の観点	正答率	分類
1(1)	1	2分野(1)イ(イ)	葉緑素を脱色する方法について理解している。	③	86.3%	○
1(2)	2	2分野(1)イ(イ)	光合成でデンプンが作られる場所を理解している。	④	70.6%	●
1(3)	3	2分野(1)イ(イ)	光合成の条件について、適切な比較方法を考えることができる。	②	81.0%	●
1(4)	4	2分野(1)イ(イ)	光合成について、関心をもつことができる。	①	89.2%	●
2(1)	5	2分野(1)イ(イ)	茎のつくりとはたらきについて理解している。	④	55.5%	○
2(2)	6	2分野(1)イ(イ)	植物の葉の特徴について理解し、区別することができる。	②	54.4%	●
2(3)	7	2分野(2)ウ(ア)	種子植物の特徴を理解している。	④	52.3%	●
3(1)	8	1分野(2)ウ(イ)	融点における物質の変化の様子を理解している。	②	40.5%	●
3(2)	9	1分野(2)ウ(イ)	物質の温度の変化をグラフに表すことができる。	②	46.1%	
4(1)	10	1分野(1)イ(イ)	水中で受ける力を理解している。	④	69.6%	●
4(2)	11	1分野(1)イ(イ)	物体が水の中で受ける力を捉えることができる。	②	59.2%	
5(1)	12	1分野(1)ア(ア)	光が反射するときの角について理解している。	④	24.1%	○
5(2)	13	1分野(1)ア(ア)	レンズに当たる光の進み方を理解している。	④	64.0%	○
5(3)	14	1分野(1)ア(ア)	光の反射と屈折について日常生活と結び付けて理解している。	②	19.9%	●
6(1)①	15	2分野(2)ア(ア)	斑状組織ができるときの結晶のつき方を理解している。	④	38.0%	●
6(1)②	16	2分野(2)ア(ア)	深成岩について理解している。	④	64.4%	○
6(2)	17	2分野(2)ア(ア)	火山灰から結晶を取り出す方法を理解している。	③	64.5%	●
6(3)	18	2分野(2)ア(ア)	マグマが冷え固まってできた岩石について関心がある。	①	86.9%	●
7(1)	19	2分野(2)ア(イ)	初期微動の伝わる速さを求めることができる。	④	43.5%	●
7(2)	20	2分野(2)ア(イ)	異なる地点における地震の到達時刻を求めることができる。	②	37.1%	
7(3)	21	2分野(2)ア(イ)	距離と速さの関係から地震の発生時刻を求めることができる。	②	54.1%	
8(1)	22	1分野(2)ア(ア)	資料から物質の密度を正確に取り出すことができる。	⑤	73.9%	○
8(2)	23	1分野(2)ア(ア)	密度を比較し、物質の浮き沈みについてまとめることができる。	⑥	45.2%	●
8(3)	24	1分野(2)ア(ア)	水と油と氷の密度の違いを適切に比較し、推論して位置を考慮することができる。	⑦	54.9%	
9(1)	25	2分野(2)イ(ア)	柱状図から地層の状況を正確に取り出すことができる。	⑤	81.1%	○
9(2)	26	2分野(2)イ(ア)	柱状図と地形の特徴から地層の傾きを捉えることができる。	⑥	18.5%	●
9(3)	27	2分野(2)イ(ア)	指定された位置の地層の状況を推論することができる。	⑦	52.2%	

(評価の観点) ①自然事象への関心・意欲・態度 ②科学的な思考・表現 ③観察・実験の技能

④自然事象についての知識・理解 ⑤必要な情報を正確に取り出す力

⑥比較・関連付けて読み取る力 ⑦意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力

(分類) ○教科書例題レベルの問題 ●教科書練習問題レベルの問題 到達目標値は○と●の合計数である。

○ 間違えてしまったときの復習のポイント

問題番号	通し番号	復習のポイント
①(1)	1	葉緑素を脱色する方法を理解すること。
①(2)	2	デンプンができる場所を理解すること。
①(3)	3	光合成の条件について、適切な比較方法を考えること。
①(4)	4	光合成について関心をもつこと。
②(1)	5	道管と師管の違いを理解すること。
②(2)	6	単子葉類の特徴を理解すること。
②(3)	7	種子植物の特徴を理解すること。
③(1)	8	物質が変化する様子を理解すること。
③(2)	9	物質の温度の変化をグラフに表すこと。
④(1)	10	水中で受ける力を理解すること。
④(2)	11	物体が水の中で受ける力を捉えること。
⑤(1)	12	入射角について理解すること。
⑤(2)	13	レンズに当たる光の進み方を理解すること。
⑤(3)	14	光の反射と屈折について理解すること。
⑥(1)①	15	結晶のでき方と斑状組織について理解すること。
⑥(1)②	16	深成岩について理解すること。
⑥(2)	17	火山灰から結晶を取り出す方法を理解すること。
⑥(3)	18	マグマが冷え固まってできた岩石について関心をもつこと。
⑦(1)	19	初期微動の伝わる速さを求めること。
⑦(2)	20	異なる地点における地震の到達時刻を求めること。
⑦(3)	21	距離と速さの関係から地震の発生時刻を求めること。
⑧(1)	22	物質の密度を正確に取り出すこと。
⑧(2)	23	密度を比較し、物質の浮き沈みについてまとめること。
⑧(3)	24	水と油と氷の密度の違いを適切に利用して考えること。
⑨(1)	25	柱状図から地層の状況を正確に取り出すこと。
⑨(2)	26	柱状図と地形の特徴から地層の傾きを捉えること。
⑨(3)	27	指定された位置の地層の状況を推論すること。

(5) 外国語〈英語〉(中学校第2学年対象)

問題番号	通し番号	学習指導要領の内容	出題のねらい	評価の観点	正答率	分類
1	1	聞くこと	相手の話を聞き、積極的に応答しようとする。	①	96.9%	●
2	(1) 2	聞くこと(ウ)	疑問詞のある疑問文に適切に応答できる。	③	56.0%	○
2	(2) 3	聞くこと(ウ)	疑問詞のある疑問文に適切に応答できる。	③	53.1%	○
2	(3) 4	聞くこと(ウ)	相手からの依頼に適切に応答できる。	③	53.1%	●
3	(1) 5	聞くこと(オ)	まとまりのある英文を聞いて、詳細を理解することができる。	③	35.7%	●
3	(2) 6	聞くこと(オ)	まとまりのある英文を聞いて、詳細を理解することができる。	③	66.1%	●
3	(3) 7	聞くこと(オ)	まとまりのある英文を聞いて、概要を理解することができる。	③	94.0%	○
4	8	書くこと(ア)(イ)	伝えたい内容を正確な英文で書くことができる。	②	38.7%	
5	(1) 9	書くこと(イ)	会話の状況設定を理解し、動詞を活用して書くことができる。	②	52.9%	●
5	(2) 10	書くこと(イ)	会話の状況設定を理解し、動詞を活用して書くことができる。	②	45.9%	●
6	(1) 11	読むこと(イ)	前置詞の意味を理解する。	④	59.0%	○
6	(2) 12	読むこと(イ)	前置詞の意味を理解する。	④	76.9%	○
7	(1) 13	読むこと(ウ)	まとまりのある英文を読んで、詳細を理解する。	③	79.0%	●
7	(2) 14	読むこと(ウ)	まとまりのある英文を読んで、趣旨を理解する。	③	83.4%	○
8	(1) 15	読むこと(イ)	What＋名詞で始まる疑問文の語順を理解する。	④	41.9%	●
8	(2) 16	読むこと(イ)	代名詞及び形容詞の入る位置を理解する。	④	56.9%	●
8	(3) 17	読むこと(イ)	3人称・単数・現在の否定文の語順を理解する。	④	76.0%	●
8	(4) 18	読むこと(イ)	What から始まる疑問文の中で副詞の入る位置を理解する。	④	76.3%	●
9	19	書くこと(ア)(イ)	場面にふさわしい表現を用いて書くことができる。	②	52.7%	
10	20	書くこと	相手に自分のことを積極的に伝えようとする。	①	62.4%	●
11	(1) 21	読むこと	英文から、必要な情報を正確に取り出すことができる。	⑤	75.5%	●
11	(2) 22	読むこと	複数の情報を比較・関連付けながら、英文の内容を読み取ることができる。	⑥	86.9%	
11	(3) 23	読むこと	得られた情報を基に、結論を導き出すことができる。	⑦	54.8%	
12	(1) 24	読むこと	英文から、必要な情報を正確に取り出すことができる。	⑤	50.4%	●
12	(2) 25	読むこと	複数の情報を比較・関連付けながら、内容を読み取ることができる。	⑥	67.0%	
12	(3) 26	読むこと	複数の情報を基に、結論を導き出すことができる。	⑦	45.1%	

(評価の観点) ①コミュニケーションへの関心・意欲・態度 ②外国語表現の能力 ③外国語理解の能力
 ④言語や文化についての知識・理解 ⑤必要な情報を正確に取り出す力
 ⑥比較・関連付けて読み取る力 ⑦意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力

(分類) ○教科書例題レベルの問題 ●教科書練習問題レベルの問題 到達目標値は○と●の合計数である。

○ 間違えてしまったときの復習のポイント

問題番号	通し番号	復習のポイント
1	1	(リスニング問題) ・相手の話を聞き、積極的に応答しようとする事。 ・英文を音読することができるようになる事。 (音読することができるようになると、聞き取りやすくなる。) ・教科書本文の音読やペアワーク等を通して、依頼や許可の表現を練習すること。 ・場面を想像しながら聞き取る事。 ・細かな情報を聞き取る際に、メモを取りながら聞き取る事。
2(1)	2	
2(2)	3	
2(3)	4	
3(1)	5	
3(2)	6	
3(3)	7	
4	8	伝えたい内容を正確な英文で書くこと。
5(1)	9	会話の状況を理解し、動詞を活用して書くこと。
5(2)	10	
6(1)	11	所有を表す前置詞を理解すること。
6(2)	12	同伴を表す前置詞を理解すること。
7(1)	13	まとまりのある英文を読んで、詳細を理解すること。
7(2)	14	まとまりのある英文を読んで、趣旨を理解すること。
8(1)	15	What＋名詞で始まる疑問文の語順を理解すること。
8(2)	16	代名詞及び形容詞の入る位置を理解すること。
8(3)	17	3人称・単数・現在の否定文の語順を理解すること。
8(4)	18	What から始まる疑問文の中で副詞の入る位置を理解すること。
9	19	場面にふさわしい表現を用いて書くこと。
10	20	相手に自分のことを積極的に伝えること。
11(1)	21	英文から、必要な情報を正確に取り出すこと。
11(2)	22	複数の情報を比較・関連付けながら、英文の内容を読み取る事。
11(3)	23	得られた情報を基に、結論を導き出すこと。
12(1)	24	英文から、必要な情報を正確に取り出すこと。
12(2)	25	複数の情報を比較・関連付けながら、内容を読み取る事。
12(3)	26	複数の情報を基に、結論を導き出すこと。

「東京ベーシック・ドリル」について

個人票の裏面には、復習に適した「東京ベーシック・ドリル」の取組み箇所が載っています。繰り返し取組み、できるようにしましょう。

「東京ベーシック・ドリル」は、東京都教育委員会ホームページ内の「学び応援ページ」にあります。

※ 東京都教育委員会ホームページアドレス

<http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/>

